

2021年2月19日(金曜日)の朝日新聞に 地震被災地への支援について掲載されました!

地震被災地へ「救缶鳥」飛ぶ

那須塩原のパン・アキモト、福島・相馬へ送る

パンの缶詰で知られる那須塩原市の「パン・アキモト」社は18日、福島県沖地震(13日夜発生)で被災した相馬市などへ約2500食分の缶詰「救缶鳥」などを送り届けた。

2011年の東日本大震災以降、災害に見舞われた各地へ救缶鳥を提供してきた。硬い乾パンと違ってパンの軟らかさを味わえる、などと好評を得ている。今回、ボランティアのネットワー

クで救缶鳥を求める声が届き、支援することにした。

支援物資は、まず相馬市内の教会へ届けられた。さらにそこから、新地町と宮城県山元町にも届けられる予定だという。

同社の秋元信彦専務は「いつでもパンを食べられるという安心感が、不自由な生活を乗り越える気力・体力を支えてくれるでしょう」と話している。

(池田敏行)



被災地へ届けるパンの缶詰を準備する秋元信彦専務(右)と社員。那須塩原市東小屋